

公表

事業所における自己評価総括表（放デイ）

○事業所名	こどもプラス盛岡南教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちの発達状態に応じた運動療育（運動あそび）を通じ、子ども一人ひとりの個別の目標達成に向けて「健康・生活」等の5つ領域から総合的にアプローチし、支援している。 ・「保育士」や「運動保育士」、「幼児体育指導者」の資格を持った職員による本格的な運動指導が受けられる。	障害のあるなしに関わらず、全ての子どもたちに運動を好きになってほしい思いから、個々のニーズに合わせ、楽しんでもらえるような運動を取り入れている。	さらに「認知機能」や運動能力を身につけられるよう、楽しみながらスモールステップで自然に、達成感や意欲を育める工夫をしていく。
2	必要な研修を受講できる環境にあり、必ず講習を受けるようにしている。	全員が1回/毎月、フランチャイズ本部による療育・運動や感染症等のZOOM研修を受けている。	・全職員が年に一回以上の外部研修を積極的に受けられるようにし、専門性を高めるようにする。 ・一つの外部研修の受講に、複数人で出席できるようにしていく。
3	児童発達支援と、放課後等デイサービスの両方を行っているため、小さい子の世話をしてくれたり、大きい子の姿を見て真似ようとしていたり、お互い助け合いながら良い関係や関わりができる。	お互い楽しんで過ごせるよう個々に合わせた取り組みができるよう、個別的な配慮や支援に取り組んでいる。	日々の活動（運動あそび）や遊びの中で楽しみながら学べるよう、工夫しながら支援をしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページ、SNS等の発信が希薄になっている。	ホームページの更新が不定期になっているため。	・必要に応じてできる限りホームページの更新とSNSの活用などで周知していく。 ・保護者向けの紙媒体の「おたより」を毎月発行している。
2	部屋数が少ない。	広い部屋1室と間仕切りのあるスペース1カ所に事務スペースで活動している。	必要に応じて間仕切りを設置して確保している。
3	非常時等の対応について、マニュアルや訓練の様子を周知できていない。	マニュアルの説明や掲示ができていない。訓練については、当日の利用者のみの参加となっているため周知されていない。	マニュアルの説明をして掲示をするなどの改善や、避難訓練の日数を増やし共有することで、全ての利用者へ避難先までの動きを認識してもらい安全管理を徹底していく。